

■米国：PJM 容量市場の問題点についての報告書（草案）が公表される

PJM は 2014 年 8 月 1 日、PJM 容量市場の問題点をまとめた報告書（草案）を公表した。PJM は、同年 1 月に米国を襲った寒波による実例とともに、現 PJM 容量市場で定められている発電事業者へのインセンティブおよび罰則では、年間を通して供給信頼度が保たれる保証が十分でないと述べている。具体的には、ピーク時間帯の計画外停止率が、過去 5 年間の計画外停止率の平均値を超えた場合にのみ（ガスの供給遮断等、発電事業者の管轄外と見なされる要因による計画外停止は、計算から除外される）、発電事業者への罰則が適用されるという規則を PJM は問題視している。PJM は、現行の規則では、保守整備や利用率向上の設備投資に対するインセンティブが十分でなく、発電事業者が計画外停止の原因を、できるだけ管轄外のものであると説明（あるいは隠ぺい）しようとする動機を与えると述べている。上記のような理由から、PJM は、現容量市場の制度を見直す必要があるとしている。